

CTEMってなに？ ASM・BASも包括する 最新フレームワーク

Pentera Securities Ltd.
カントリー・マネージャー
ミッチェル ディバート

2024年5月16日

世界中で信頼されています

2018年
販売開始

350
従業員数

\$1.5億
出資受け入れ額



Blackstone

INSIGHT
PARTNERS



evo/ution
EQUITY PARTNERS

50
か国・地域



1000
お客様数

TOYOTA

NHS

GAP

Blackstone

Casey's

teva

Telefónica

SEPHORA



JANSEN

City of Vienna

FP
FRANCISCO PARTNERS

Azul

Bell

Virgin

BlackRock

Deloitte.



NORTHERN TRUST

CITY NATIONAL BANK
AN RBC COMPANY

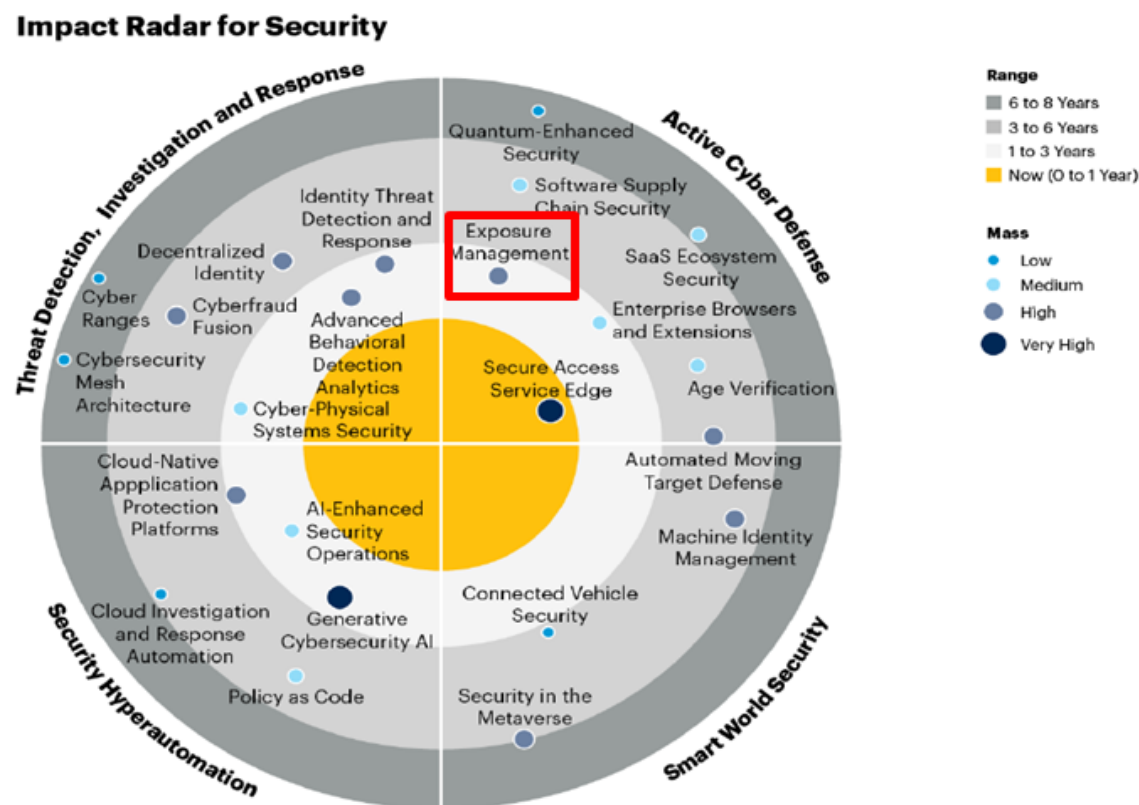
ADD|SECURE

APRIA HEALTHCARE

CTEMとは？

新興テクノロジーインパクトレーダー: 2023年セキュリティ

Figure 1: Impact Radar for Security



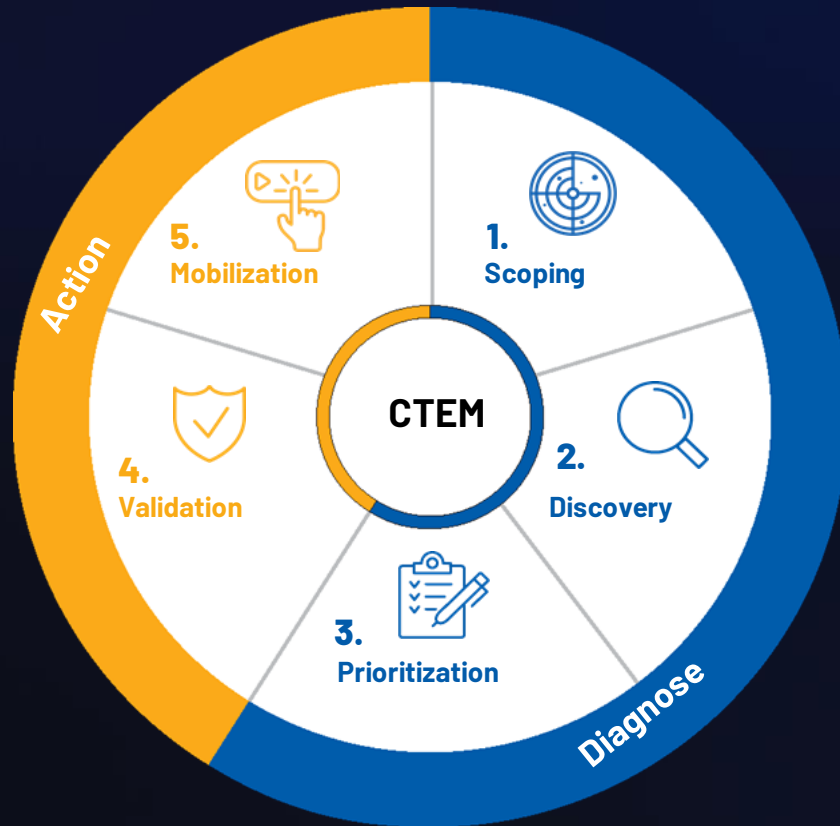
“自動化された侵入テストは3-4年後には脆弱性スキャナーを持つのと同じくらい広く利用されていると思われます。

(最高情報責任者 セキュリティ責任者 (CISO) の立場として継続的な検証を実現して、最高の人材を維持し、レッドチームによる侵入テストをより頻繁に実行したいならば Penteraのようなプラットフォームが必要です”



エクスポージャーマネージメントの
サンプルベンダーに選出されております。

Continuous Threat Exposure Management (CTEM)



1. Scoping / スコープ設定
2. Discovery / 発見
3. Prioritization / 優先順位付け
4. Validation / 検証
5. Mobilization / 動員

(E)ASMと(CT)EMとの違い

Exposure Management の構成要素 Gartner

(エクスポージャーマネジメント)

攻撃表面	脆弱性	検証
内部	優先順位付け	対象を定めた
外部	分類	包括的
デジタルリスク	認知	コンプライアンスに基づく

※検証とは本物の攻撃手法を使って、脆弱性を発見することです。

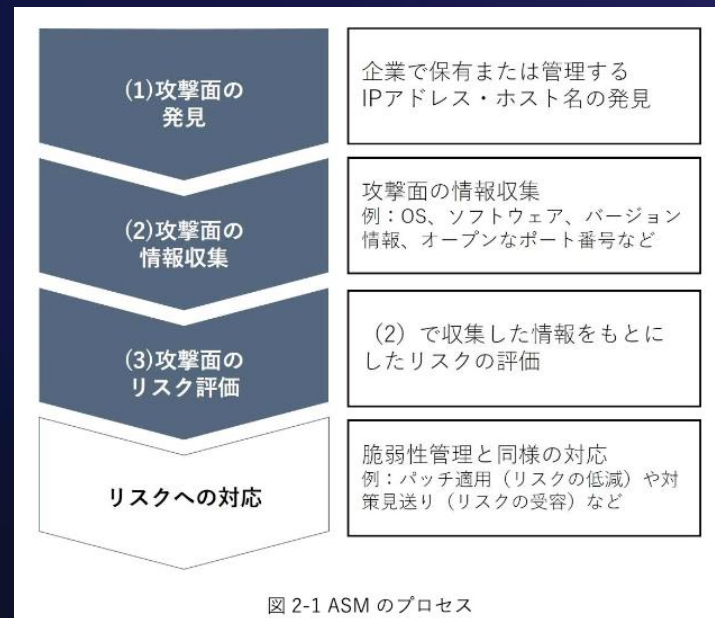


図 2-1 ASM のプロセス

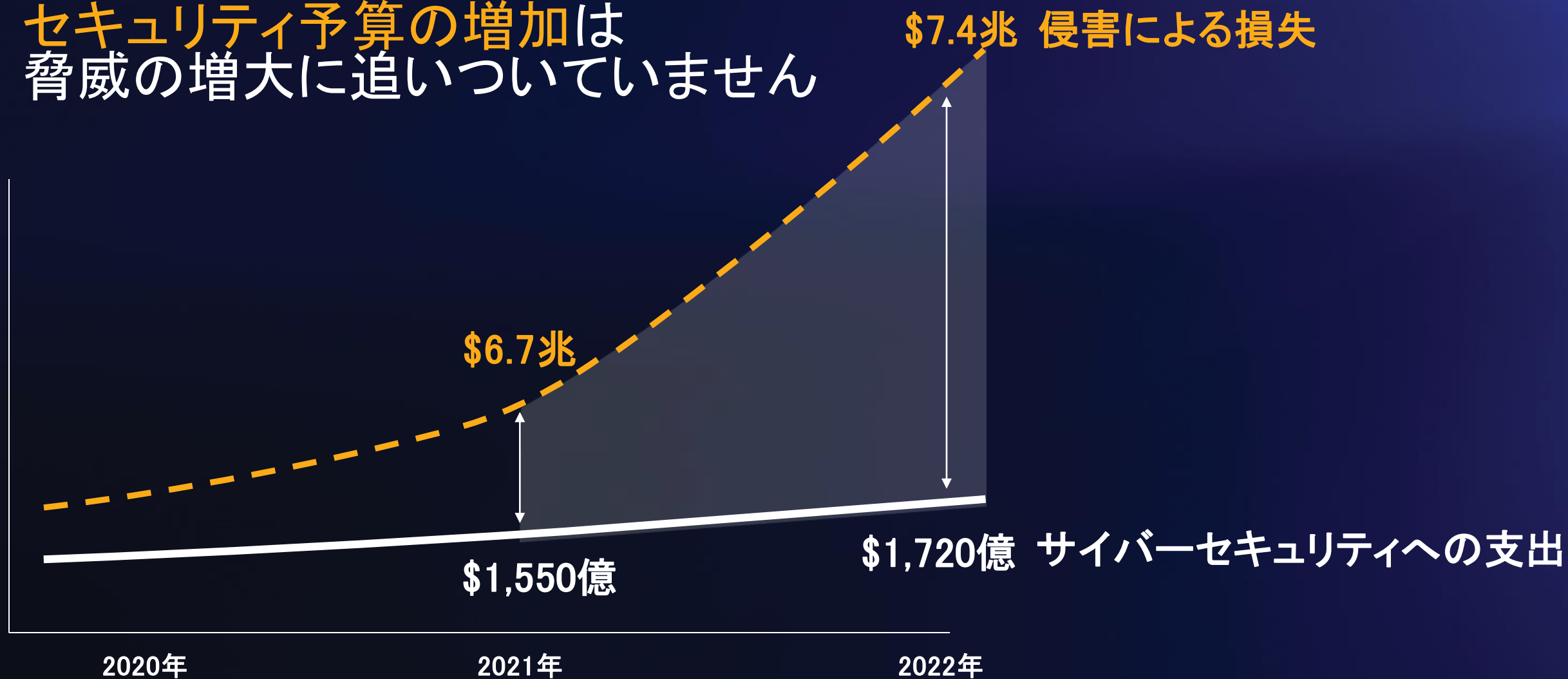
攻撃表面管理 (ASM) の構成要素

攻撃表面管理 (ASM)

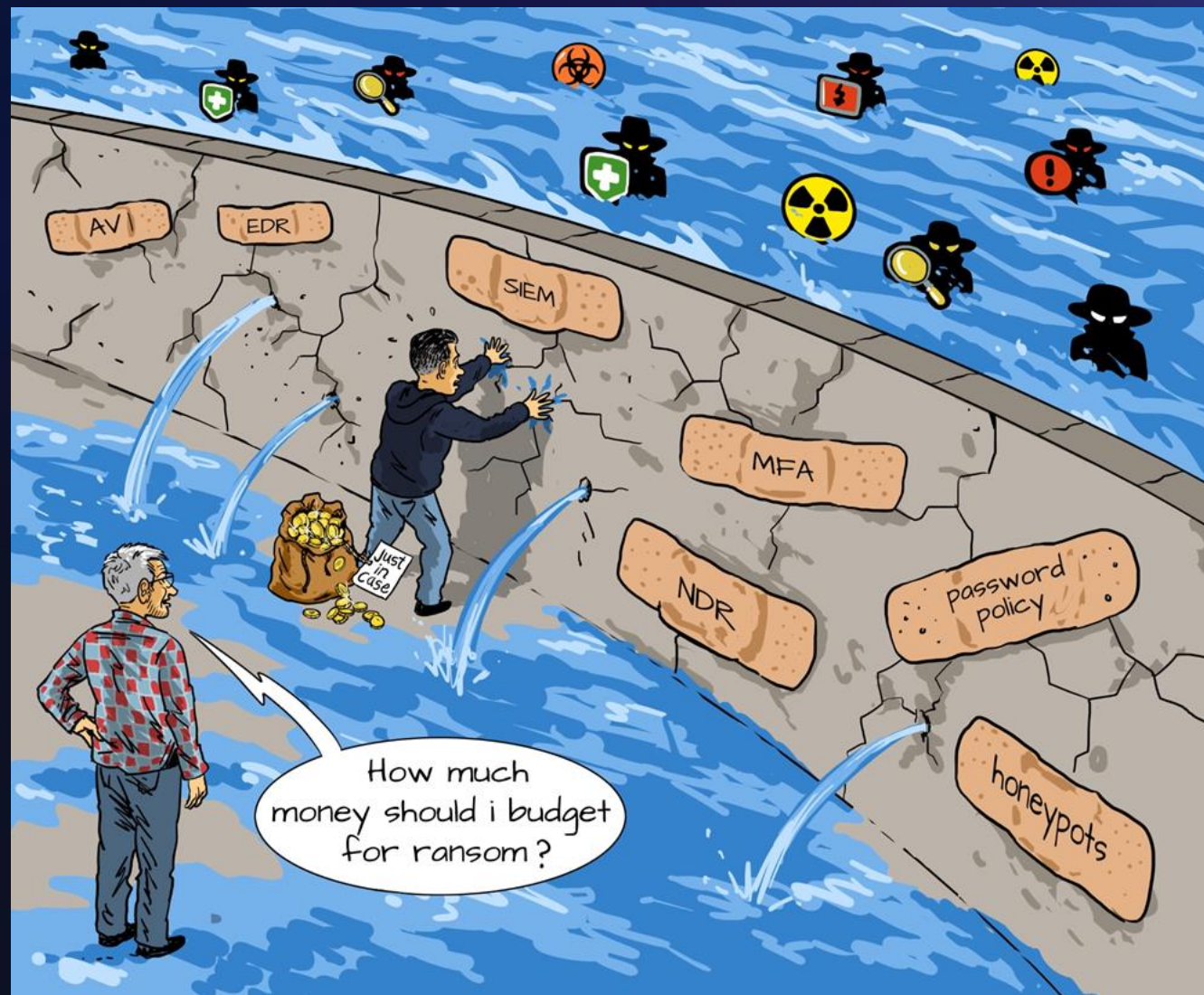
攻撃表面	脆弱性
外部	認知

企業の置かれている現状

セキュリティ予算の増加は 脅威の増大に追いついていません



なぜ攻撃が減らないのか？





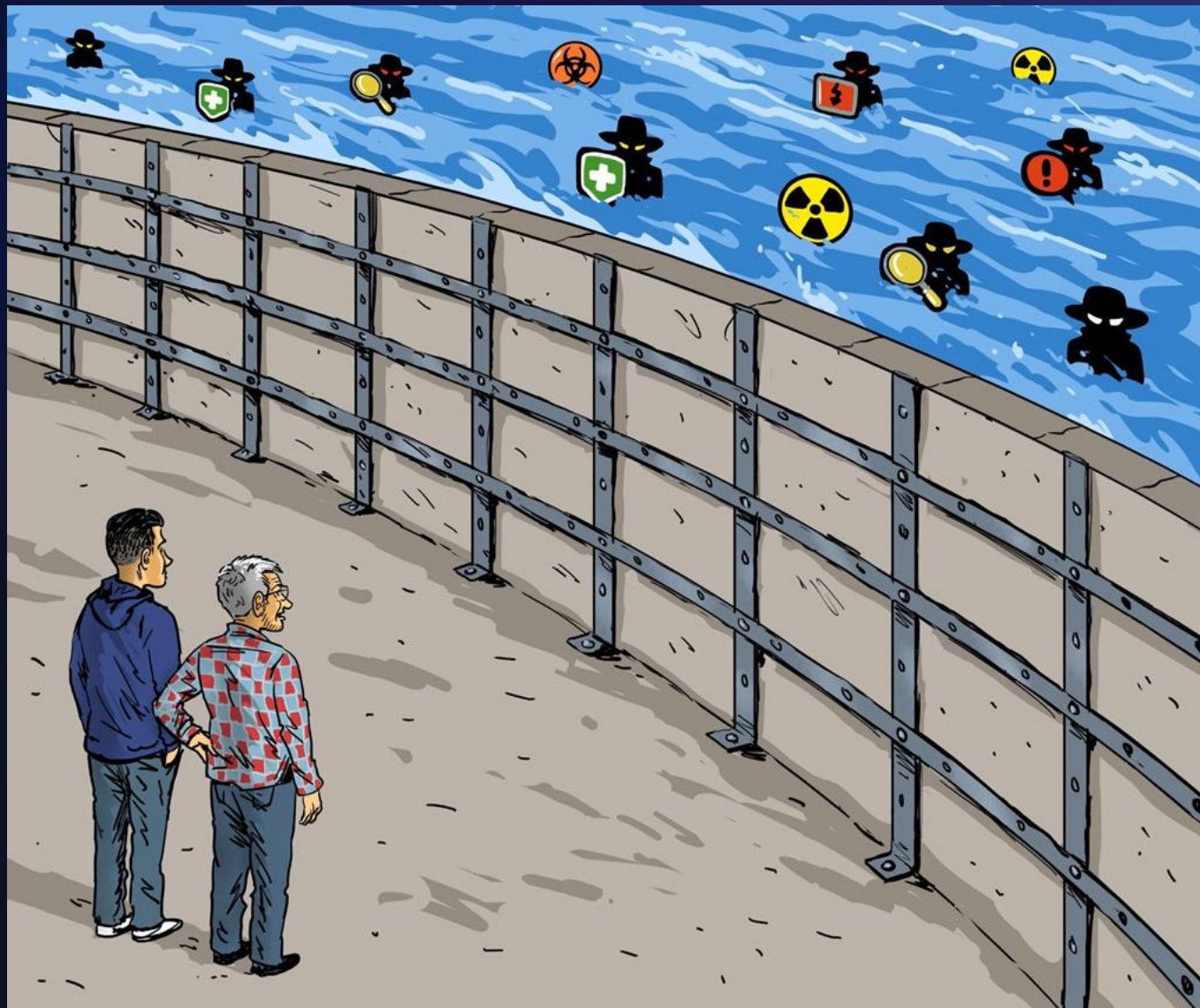
防御側
点で考える

対



攻撃者側
グラフで捉える

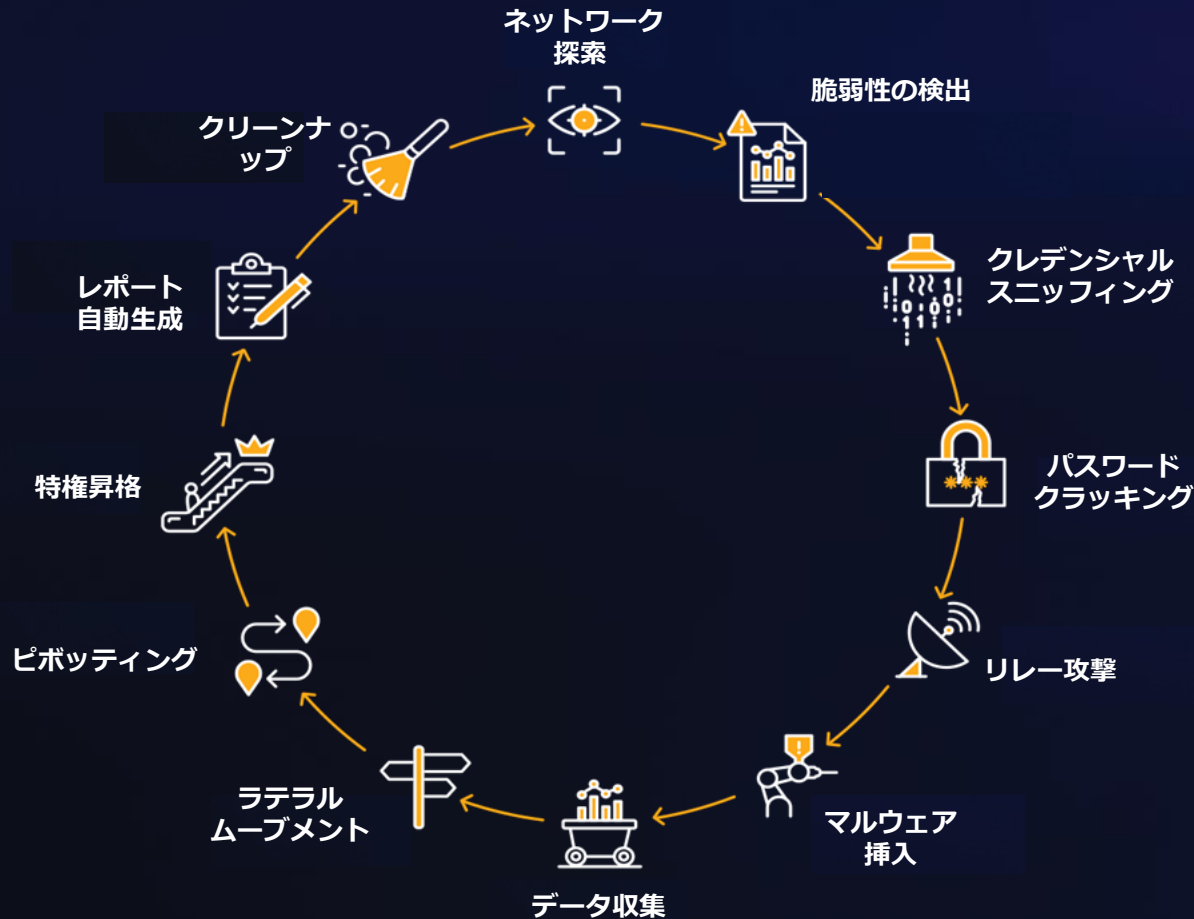
自動化された セキュリティ 検証の活用



PenteraによるCTEM運用の効率化 の実現

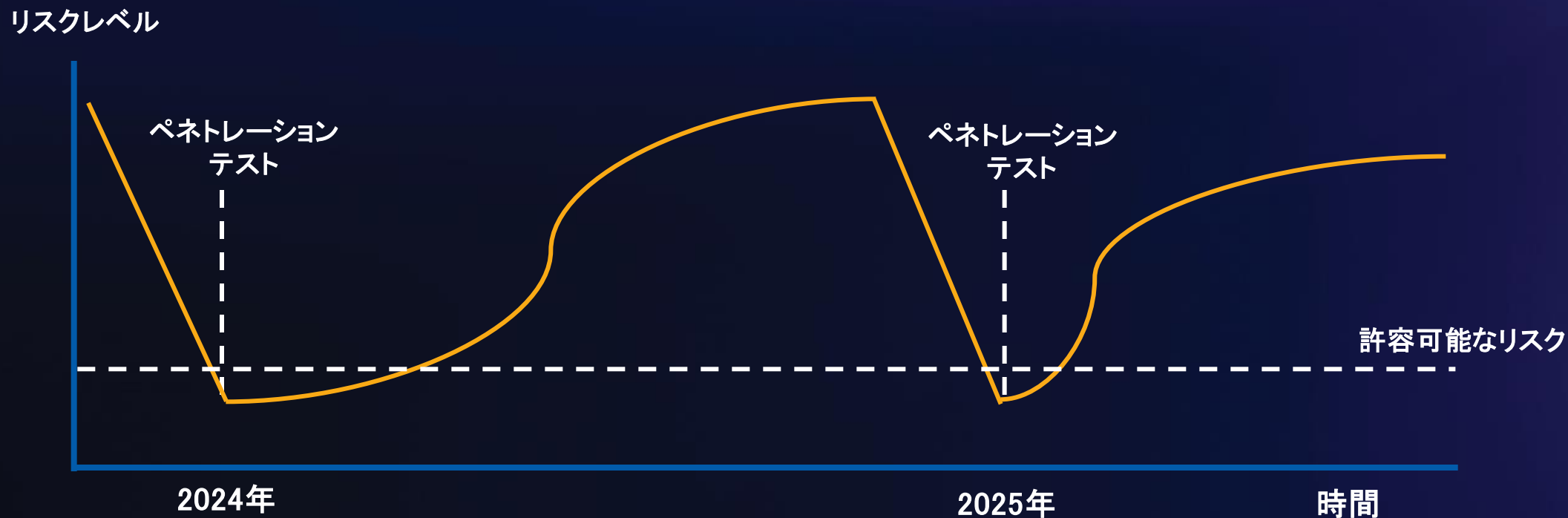
Peteraが考える検証とは？

ASV (Automated Security Validation)



- 自動化
- 実際の攻撃をもとにしたテスト
- 安全
- 継続性
- エージェント不要
- 対応策のご案内

従来のセキュリティ検証 年に一度、ITの5%~10%を実際にテスト

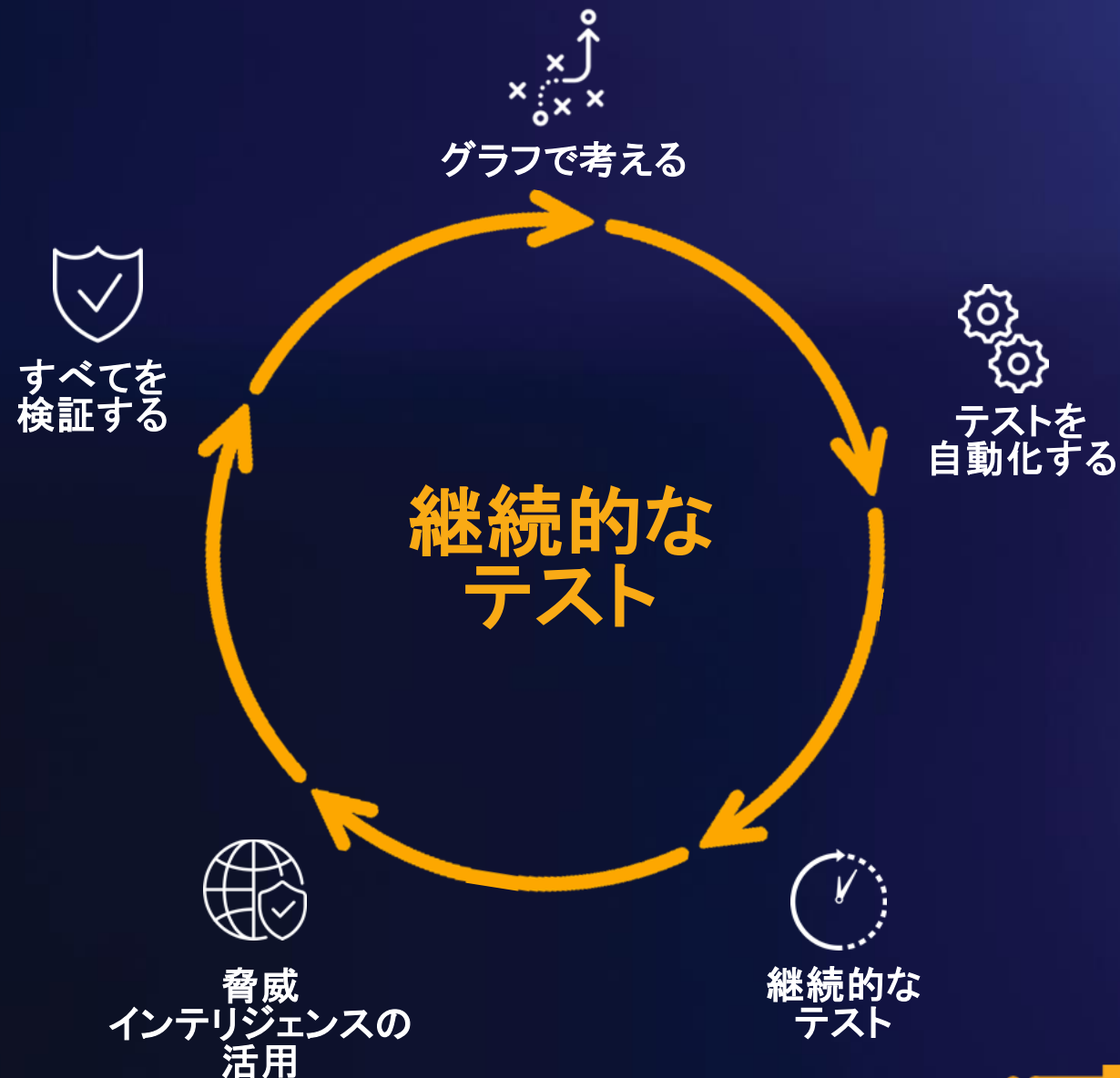


継続的なセキュリティ検証



まとめ:

CTEMの中核となる
検証＝Pentera





CTEMでは、セキュリティ検証能力が一番の
キーポイントになります。



Thank You.

Penteraの活用事例

海外銀行事例



City National Bank

設立：1954年

総資産：14兆円*

継続的な診断を行うことにより、**正確**にセキュリティ運用状況を把握することができる。

Penteraを用いることにより、**網羅的**にセキュリティ状況を把握、改善策の立案ができる。

Penteraを用いることにより網羅的なセキュリティ状況の把握、セキュリティ耐性の継続的な改善に繋がっている。

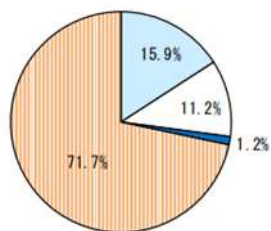
- \$93.72B（2024年1月31日）

引用：<https://pentera.io/resources/case-studies/page/3/>、
Copyright © Tokyo Electron Device LTD. All Rights Reserved.

ユースケース 1

リスク評価が可能な人材の不足

図表 8 新たなデジタル技術導入により生じ得るサイバーセキュリティに関するリスク評価が可能な人材の確保状況



- 自組織職員のみ(他部署からの配置転換を含む)で要員を十分確保できている
- 自組織職員に加え、外部人材(親会社等からの人材を含む)の活用により十分な要員を確保できている
- 外部人材の活用のみで十分な要員を確保できている
- 要員を十分に確保できていない

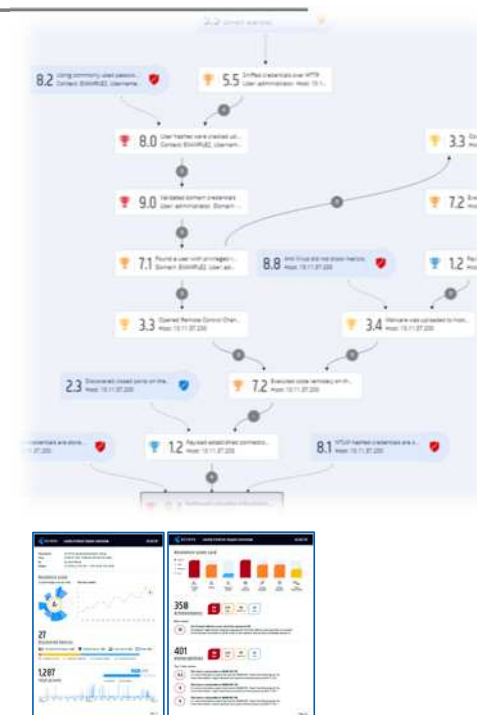
**脅威の重大性評価が
できる人材の不足**



**攻撃範囲を
ステップで可視化**

**成功した攻撃の
重大度スコアづけ**

Penteraの特徴



脅威の重大性評価が可能に

ユースケース 2

リスク診断の工数、コスト

1. 委託先検討
2. 診断前すり合わせ
3. 診断前内部調整
4. 診断実施
5. 診断後のレポート待ち

多くの工数
高い委託費

Penteraの特徴

エージェントレス
診断対象の調整負荷小



少ない設定項目で
診断を即時開始

設定箇所10項目



工数、委託費のトータルコストを削減

CTEMハンズオンのご案内



6月6日開催！CTEMを試せる！！

CTEMハンズオンを開催！

Gartner Exposure managementのカテゴリのサンプルベンダー

Penteraを使って、CTEMのアプローチを簡単に実現する方法を体験できます。



実施内容

- 導入：Penteraコンセプトのご説明
- 実践1：Coreライセンスを使った内部環境への診断
- 実践2：Ransomware + パスワード耐性診断
- クロージング：QA

※定員：最大4組（1組5人まで）

申し込みはこちらから



会場 東京エレクトロデバイス 新宿サポートセンター

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-33-4 住友不動産西新宿ビル 4号館 1F